



# 鳥海山の自然史

2017.9.23 ~ 11.12

観覧無料

 秋田県立博物館

〒010-0124 秋田市金足鳩崎字後山 52 Tel : 018-873-4121 Fax : 018-873-4123 ホームページは『秋田県立博物館』で検索  
e-mail : info@akihaku.jp 休館日 : 月曜日 (祝日の時は翌平日) 開館時間 : 9:30~16:30 (11月からは 16:00まで)





秋田県と山形県にまたがる鳥海山は、その出で立ちから出羽富士とも呼ばれ、また、秋田県民歌に「秀麗無比なる 鳥海山よ」と歌われているように、秋田を代表するものの一つに挙げられます。

しかし、鳥海山は気象庁が常時観測を行う活火山の一つであり、何度も噴火を繰り返し、その活動により現在の鳥海山とその周辺の地形、自然環境が形成されました。この展示では鳥海山の特徴的な地質や生物を紹介します。



### 火山

火山としての鳥海山は、約60万年前に活動を開始し、3つの活動期を経て、現在のような形になりました。紀元前466年には山体が大きく崩壊し、その土砂は岩なだれとなって木々をなぎ倒し平野を埋め立て、日本海まで達しました。この際、埋没した木々は「埋もれ木」と呼ばれ、高速道路の工事の際に大量に発見されました。



### 水の恵み

鳥海山は雄大な裾野を海に広げ、いたる所から豊富な湧き水が流れ出て豊かな自然環境を作りだし、人々にとって恵みの山となっています。この湧き水は、鳥海山に降った雨や雪が隙間の多い溶岩の間に染みこみ、長い年月を経て溶岩流の末端などに現れたもので、一部は海岸や海底からも湧き出しています。



### 鳥海山の生き物

鳥海山には様々な生き物が生息していますが、もっとも有名なのは国の天然記念物に指定されたイヌワシです。国内での生息数は、600羽程度といわれ、年々少なくなっています。国は法律による規制で保護に取り組んでおり、また、秋田市大森山動物園では40年以上にわたり研究を続け、飼育・繁殖に成功しています。



### ジオパーク

ジオパークとは「大地の公園」を意味し、地球（ジオ）を学び、丸ごと楽しむことができる場所をいいます。鳥海山は1963年に国定公園として指定され、2016年には「日本海と大地がつくる水と命の循環」をテーマとした「鳥海山・飛島ジオパーク」として認定されました。

### 展示解説

日時：10月 1日（日）、10月15日（日）  
10月29日（日）、11月12日（日）  
午後2時開始（30分程度）  
会場：博物館企画展示室 ※事前申込不要

- J R 奥羽本線・男鹿線  
追分駅下車 徒歩20分
- バス 中央交通五城目線  
金足農業高校入口下車  
徒歩15分
- 自動車 秋田自動車道  
昭和男鹿ICから10分

